

## 注記

### I. 重要な会計方針

当年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

#### 1 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的債券 償却原価法（定額法）による。

#### 2 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

- ・減価償却の方法  
定額法による。

- ・主な耐用年数

建物 6～50年

構築物 2～60年

機械及び装置 5～50年

器具及び備品 4～15年

##### (2) 無形固定資産

- ・減価償却の方法  
定額法による。

#### 3 引当金の計上方法

##### (1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

##### (2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支給（支払）見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

#### 4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式による。

## II. 貸借対照表関連

### 1 みなし償却制度の廃止に伴う移行処理について

平成18年度以前は、旧みなし償却規定を適用していたが、平成19年度以降は、旧みなし償却規定を適用しなくなったため、次のとおり整理している。

#### (1) 平成18年度以前

平成26年3月31日において、償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額については、該当資産との対応関係の把握が全て可能であったため、旧みなし償却規定を適用していなかった場合の帳簿価額となるよう減額した額に相当する額を、資本剰余金から減額し、残余の資本剰余金を長期前受金へ計上した。

#### (2) 平成19年度以降

平成26年3月31日において、償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額については、該当資産との対応関係の把握が全て可能であったため、旧みなし償却規定を適用していた場合の帳簿価額との差額に相当する額について、資本剰余金から利益剰余金に振り替えた。

## III. セグメント情報の開示

### 1 報告セグメントの概要

水道事業会計は、県央第一水道、新田山田水道、東部地域水道及び県央第二水道を運営しており、各水道ごとに運営方針等を決定していることから、それらの4つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

セグメント区分	事業の内容
県央第一水道	前橋市、高崎市、榛東村、吉岡町への水道用水供給事業及びその附帯事業並びに水道用水に関する調査事業
新田山田水道	太田市、みどり市への水道用水供給事業及びその附帯事業並びに水道用水に関する調査事業
東部地域水道	太田市、館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町への水道用水供給事業及びその附帯事業並びに水道用水に関する調査事業
県央第二水道	前橋市、桐生市、伊勢崎市、渋川市、玉村町への水道用水供給事業及びその附帯事業並びに水道用水に関する調査事業

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日）

（単位 千円）

	県央第一水道	新田山田水道	東部地域水道	県央第二水道	合計
営業収益	2,317,030	901,448	981,449	2,137,720	6,337,647
営業費用	1,237,121	589,442	909,896	1,974,741	4,711,200
営業損益	1,079,909	312,006	71,552	162,980	1,626,447
経常損益	1,036,801	269,725	95,017	256,012	1,657,555
セグメント資産	23,380,890	8,139,337	15,335,949	36,519,509	83,375,685
セグメント負債	5,638,234	3,412,824	8,353,137	20,335,672	37,739,867
その他の項目					
他会計繰入金	—	—	—	489	489
減価償却費	532,254	248,965	480,791	1,285,037	2,547,047
特別利益	2,263,293	260,667	228,665	352,418	3,105,043
特別損失	76,247	21,557	21,749	66,519	186,072
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	439,150	314,541	123,370	136,215	1,013,276

（注）1 水質検査センター並びに本局の収益、費用、資産及び負債は、4水道に配分している。